

## 令和5年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県北会場

#### 科目 ⑫学校・地域との連携

- ◆ 人口減少や地域社会のつながりの希薄化、児童虐待の増加など学校が抱える課題は困難なものになっています。教育目標の実現は学校だけでは難しく、コミュニティスクールという学校・保護者・地域住民が共同しながら子どもたちの成長を支えるための仕組みがあります。地域学校協働活動の1つとして、放課後子ども教室というものがあると知り、子どもたちがただ楽しいだけでなく、様々な人と交流し、心が豊かになっていけたらと感じました。
- ◆ 子どもが安全安心に過ごすためにも地域との連携は欠かせないものであると再認識し、人口減少が進む中、学校の統廃合の加速化が進み、危機的課題が山積していることも理解できました。子どもの健全育成のために学校・保護者・地域などの関係機関と連携を深めながら信頼関係を重要視し、共通の認識をもって日々子どもと向き合い努力していきたいです。
- ◆ 地域学校協働活動やコミュニティスクールという子どもの健全育成を図る活動が押し進められていることを知りました。放課後の児童支援も総合プランに基づき、今後変化していくと思われますが、周囲との連携を深めながら情報交換を密にして取り組む必要があると思います。実際には困難な課題も多く、連携して解決しなければならないと思いました。
- ◆ 秋田県の人口推移から生産年齢人口、高齢人口などを踏まえると確かにコミュニティの共同活動の継続が困難になると思いました。そのため、放課後児童施設も学校地域との連携の模索が必要とされるのは、もっともなことです。放課後子ども総合プランは厚生労働省と文部科学省の一体的な運営によって、様々な問題を乗り越えていくということを目指しており、素晴らしいことだと思いました。
- ◆ 本科目を通じて学んだことは、コミュニティスクールの仕組みや地域学校協働活動の内容です。特に、一方的な依存関係にはない「一緒にやりましょう」というパートナーシップ（協働）が大事だという考えに共感しました。放課後児童クラブもこの考えの元、学校や地域との連携をより強めていくことが大切だと学びました。また、最後に行った情報交換によって、他のクラブの状況についても大変勉強になりました。